



神戸大学交響楽団

Summer Concert 2024

2024.5.18.(土)

18:00開演 (開場17:00)

場 所：尼崎市総合文化センター
あましんアルカイックホール

/ご|挨拶|

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 大田美佐子



本日は神戸大学交響楽団 サマーコンサート 2024にご来場頂きありがとうございます。縁あって顧問という名前の応援団長を務めております。

今回のプログラムは、シベリウスの交響詩フィランディア、ブルッフの交響曲第3番、そしてメインはブラームス第一番という組み合わせ。どれも旋律の美しい名曲として知られ、時代は世紀末から1870年代、さらにベートーヴェンを継ぐ理想へとプログラムは時代を遡ることになります。先が見えにくい現代だからこそ、古典に学ぶ。古典は、奏者を時代に閉じ込めるのではなく、新しい時代に鮮やかに、画期的なビジョンを開いてくれます。今日は若々しい精神で、19世紀の古典を奏でる神大オケの演奏を、皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

共演してくださる客演指揮の木許裕介二先生、いつも変わらず楽団の演奏活動を支えてくださっているトレーナーの先生方、上田真紀郎先生、村瀬司先生、徳田知希先生、小谷康夫先生に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

響友会会長
(神戸大学交響楽団OB・OG会)

八木 秀夫
(1970年入学 チェロ)



本日は神戸大学交響楽団Summer Concert 2024にご来場賜り誠にありがとうございます。

長く続いたコロナ禍も一段落し、当団も以前に近い状況で活動できるようになって参りました。それまでは団員が集まることすら困難でしたが、やっとベストでオーケストラ活動に取り組めることは現役団員にとって大変大きな喜びだと思います。

大学時代の4年間は長い人生において大変貴重かつ重要な期間でありましょう。その中で団員はこの約半年をかけ懸命に練習して参りました。本日の演奏をご来場の皆さまに楽しんで頂け、さらに団員の心にいつまでも残る素晴らしいものになりますよう願っております。OB・OG会であります響友会と致しましても引き続き当団を資金面精神面等で支援をしていく所存でございます。

ご来場の皆さまにおかれましては、神戸大学交響楽団を今後とも温かく見守って頂けますようお願い申し上げますご挨拶とさせていただきます。



神戸大学交響楽団団長 小出 育実



本日はお忙しい中、神戸大学交響楽団Summer Concert2024にお越しいただき、誠にありがとうございます。団員を代表して、厚く御礼申し上げます。

私たち“神大オケ”は、2025年に創立110周年を迎えます。私たちは無念にもコロナ禍以前の神大オケを知らず、手探りの中で試行錯誤し、活動を続けてまいりました。しかし、あの山の上の学生会館で練習をする私たちを、同じように練習に励む先輩方と重ね想い描くと、神大オケの音楽は昔も今も変わらず受け継がれているように感じます。

この悠久の歴史に恥じぬよう、団員一同心を込めて演奏いたします。どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみくださいませ。

最後になりましたが、本演奏会を支えてくださる、指揮者の先生、ご指導くださるトレーナーの皆様、OB・OGの皆様、各関係者の皆様、そして私達の音楽を楽しみにして下さる観客の皆さまに、重ねて感謝申し上げます。



PROGRAM

神戸大学交響楽団 Summer Concert 2024 Kobe University Symphony Orchestra Summer Concert 2024

交響詩「フィンランディア」作品26 (約10分)

Finlandia Op.26

J.シベリウス

Jean Sibelius

指揮 吉川 和孝
コンサートマスター 桑原 陽

交響曲第3番 ホ長調 作品51 (約35分)

Symphony No.3 in E major Op.51

I. Andante sostenuto

II. Adagio

III. Scherzo

IV. Finale. Allegro ma non troppo

M.ブルッフ

Max Bruch

指揮 木許 裕介
コンサートミストレス 池田 愛花

休憩 (25分)

交響曲第1番 ハ短調 作品68 (約45分)

Symphony No.1 in C minor Op.68

I. Un poco sostenuto - Allegro

II. Andante sostenuto

III. Un poco Allegretto e grazioso

IV. Adagio - Più Andante - Allegro non troppo, ma con brio

J.ブラームス

Johannes Brahms

指揮 木許 裕介
コンサートミストレス 塩月 佳穂

2024年5月18日(土)18時00分開演(20時15分終演予定)

尼崎市総合文化センター あましんアルカイックホール

後援=兵庫県・神戸市・朝日新聞神戸総局・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社・
公益財団法人 神戸市民文化振興財団・神戸市教育委員会

令和6年度 芸術文化活動機会促進事業(兵庫県)



客演指揮 木許裕介 (Yusuke KIMOTO)

20代から東南アジアで数々の演奏会を指揮したのち、イタリアを中心に欧州で研鑽を積む。2018年、ポルトガルで開催されたBMW国際指揮コンクールにて日本人初の第1位優勝。同年、出身の大阪府高槻市より「特別功労賞」を受賞。以降、世界各地から指揮者として多数招聘されグローバルな活動を展開。国内では各地のプロオーケストラと共演するほかユースオーケストラの育成に顕著な実績を挙げている。特に大学オーケストラの指導には定評があり、コロナ禍においても東洋大学管弦楽団「第九」演奏会をはじめ、福井大学フィルハーモニー管弦楽団、九州大学芸術工学部フィルハーモニー管弦楽団、埼玉大学管弦楽団など数々の団体の公演実現に尽力。また、2021年よりエル・システムジャパン音楽監督に就任し、「世界子ども音楽祭」をはじめ多数の音楽祭を成功に導く。

ブラジル音楽のエキスパートとしても知られ、日本ヴィラ=ロボス協会会長を務める。音楽を通じた地域創生や国際文化交流、産学界と連携した音楽の場づくり・人づくりのプロジェクトなど革新的な活動でも注目を集めており、全国の教育機関や企業での講義講演およびワークショップ、メディア出演なども多数。単著に『ヴィラ=ロボス -ブラジルの大地に歌わせるために-』(春秋社)、共著に『エル・システム -音楽が与えてくれるもの』(エトヴァス・ノイエス新書)、校訂楽譜に『貴志康一: ヴァイオリン協奏曲』などがある。東京大学大学院総合文化研究科修了。修士(学術)。

※トレーナーの先生方※

上田 真紀郎	(指揮者、ヴァイオリン奏者、相愛大学音楽学部・兵庫県立西宮高等学校音楽科、各非常勤講師)
小谷 康夫	(大阪交響楽団首席ティンパニ奏者、大阪音楽大学・大阪芸術大学講師、近畿大学附属高等学校吹奏楽部指揮者、西宮市吹奏楽団常任指揮者、KSP All Stars音楽監督・常任指揮者)
大熊 勇気	(フリーランスチェロ奏者)
徳田 知希	(大阪交響楽団 前首席トランペット奏者)
中井 信輔	(大阪交響楽団 副首席トロンボーン奏者)
長島 徹	(フリーランスオーボエ奏者、ソリスト)
西内 泉	(フリーランスヴィオラ奏者)
村瀬 司	(大阪交響楽団 前首席クラリネット奏者)

以上の先生方にご指導頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。